


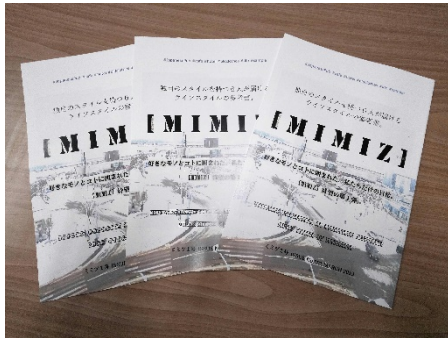
Project  地域協働専攻 地域政策グループ	地域プロジェクト（2018 後期～2019 前期） <h2 style="text-align: center;">道南地域くらし応援プロジェクト</h2>
【メンバー】 [学 生] [担当教員]	高橋 雅矢/西村 美咲/船越 美咲/村田 千果/山本 瑞姫 ホゲット 睿実 畠山 大
【背景】	2018 年度後期の活動当初に、近年において様々な媒体が普及している中で「海外では電子書籍が普及しているが、日本ではあまり好まれない」という点に興味を持ち、電子書籍と紙書籍で雑誌を発行しようということになった。その後、半期の活動の、具体的なテーマ性をもった雑誌のほうが読者に伝わりやすいという反省から、よりターゲットやテーマ性を明確にした雑誌制作を行うこととなった。
【目的】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我々が興味を持ったことを、学生目線で自由に調べ、伝える。 ○ 人々のくらしの選択の幅を広げ、豊かな生活を送る後押しをする。 ○ 地域が抱える課題を、MIMIZ を通して知ると同時に、こんな生き方もあるのか、まねしたい、行ってみたいという LIFE & WORK を見つける雑誌。
【概要】	I. MIMIZ の由来 ミミズという生物の下記の特徴を理想とする活動を行うため <ul style="list-style-type: none"> ① 地面を這う＝現場密着 ② 地中に潜る＝物事を根本的に掘り下げて調べる ③ 良い土を作る＝地域の土台となる人材になる ④ 薬になる＝自身が地域にとって有為な人材となる ⑤ 後退しない＝いつも前向き！ II. 活動内容 ミニコミ誌を発行し、学生や若者の意識や感覚と地域の「大人」のそれとの橋渡しをすることで、地域における学生や若者とミドル・シニアとの交流・協働を活性化し、ひいては、若者の地域における就業・企業・定住を促進することに貢献する。 III. 第 2 号テーマ「函館つままない。」 学生メンバーの中で、函館に対して「楽しい」と感じる者と「つままない」と感じる者がおり、そのギャップを調査し、伝えたいと考えたので、このテーマを設定した。 また、4 年間過ごす函館の街を知るため、普段は何気ない風景の一部であるお店や、気になる人物を学生目線で取材し、4 年という生活を充実させたいと考えたからである。
【プロセスと成果】	2018 年度は、電子書籍と紙書籍の比較というところを重視して作成したため、相手に伝えるものとしての雑誌でなかった。それを踏まえて、2019 年度では読者に何を伝えるかというところに注目した。 その結果、メールなどで問い合わせの連絡をいただいた。 第 2 号からは、アクセス数を計測できる機能を追加し、公開後 1 か月でアクセス数 600 を突破した。 また、第 1 号で北海道新聞、第 2 号で函館新聞に掲載された。



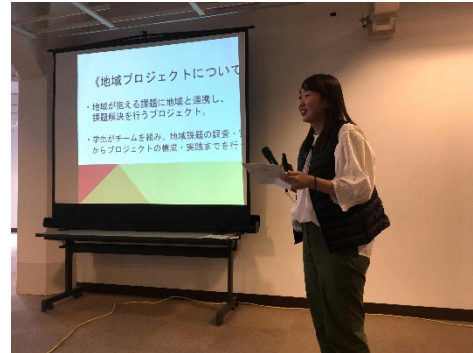
【第1号表紙】



【第2号表紙】



【MIMIZ 第1号(紙媒体)】



【地域のシンポジウムで活動紹介】

【総括と反省・今後の課題】

前半は、作成をしながらも紙書籍と電子書籍の特性について考えることができた。

後半は、前半で考えたそれぞれの特性を生かして、“伝える”ということをメインに活動した。

前半の活動と比較して、より具体的なテーマをもった伝え方ができた。一方で、広報活動が十分とは言えなかった。広報活動の強化によって、プロジェクトをさらに効果的なものにできると考える。

さらに、今後の課題として、電子媒体という特性を活かす仕組みをより多く活用すると考える。電子媒体は、載せた URL をクリックすることで、すぐにそのページにとぶことができる。そういった特性を十分に生かした取り組み・発信により、電子書籍に対しても親しみを持ってもらえるような活動へと発展していくのではないだろうか。

また、書籍に対するコメントなどの反応が見える仕組みも整備したい。これにより、私たちの雑誌がどのように伝わったのか、どういう情報が求められているのかという点をもとにした活動ができると考える。

さらに、現在、編集後記を作成しており、そこでは、3年生メンバーが今後 MIMIZ を作っていく2年生に対して「広報の強化」や「のびのびと何でも挑戦してほしい」という思いを伝えている。

【地域からの評価】

「もっと喫茶店の記事が読みたい」という意見があった。

函館市地域交流まちづくりセンターでのイベントに招かれ、活動報告をさせてもらい、その後、G スクエアや北海道教育大学函館校内の図書館、青年センターで無料配布を行った。すると、メール等での問い合わせ連絡があった。

【その他】

年間スケジュール

2018 年度	10 月	打ち合わせ
	11 月	テーマ決め
	12 月	取材 デザイン
	1 月	
	2 月	
4 月 1 日	発行	
2019 年度	4 月	テーマ決め
	5 月	取材 デザイン
	6 月	
	7 月 20 日	発行